

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：大山崎町

プロジェクト名	おおやまざきみらい創生プロジェクト		実施期間	平成26年度	テーマ	みらいづくり	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>昭和41年に始まった円明寺が丘団地の開発は、本町の人口増加と京阪神のベッドタウンとしての発展の契機となった。計画的に整備されたこの団地は、良好な住環境が形成されている一方で、建設から50年近くを経て、集合住宅の建物の老朽化や高齢化が進行している。この地域に隣接する長岡京市域に、昨年12月に阪急電鉄京都線の新駅が開業したことに伴い、住宅需要の動向などをふまえた住民のライフステージや時代のニーズに応じた居住地の再整備が必要である。</p> <p>また、町の中央部での旧集落地では、狭隘な生活道路が多く、住環境面、交通安全面、防災面などでの課題を抱えている。京都第二外環状道路側道の整備によって通過交通の転換は一定図られているが、併せて、京都第二外環状道路の側道を活用と小泉川に人道橋（歩行者専用道路）を設置し、中学校通学路の整備を計画している。この通学路にかかる整備は、「都市計画マスタープラン」での「大山崎町将来都市構造」における「大山崎散策回廊」の一環でもあり、町の将来にかかる重要な都市整備として位置づけている。</p> <p>京都第二外環状道路の整備に関連しては、高架下空間を活用した公園整備を町民のワークショップの結果（平成23年度に実施済）を基に進めている。広域交通網の整備による利便性を活かした都市機能の充実を図る一方で、生産緑地地区指定の導入による農地保全や緑地の活用を図るなど、自然環境及び都市環境の総合的な保全・整備が必要である。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	本町の将来構想における体系的で安全な都市・生活基盤づくりを行う。							
	総事業費（千円）	10,118	本年度事業費（千円）	10,118	交付金額（千円）	2,210		
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）				
市町村 実施事業	総合計画策定調査業務委託	交付対象事業	総合計画策定のための調査業務委託（町民ワークショップ、アンケート調査、現況と課題分析、計画素案の作成）	ワークショップの開催（のべ3回、のべ26人参加）、アンケート調査の実施【回収率】住民：51.6%、小学6年生・中学1年～3年生：98.2%、町職員：62.5%				
	役場周辺公共施設利用者送迎バス試験運行事業	交付対象事業	役場周辺公共施設利用者送迎バス試験運行の実施	のべ18日間実施（平成26年10月21日～11月14日の平日のみ）、のべ利用者数：754人（1日平均41.9人）				
	都市計画マスタープラン見直し検討事業	交付対象事業	都市計画マスタープランの印刷製本	本編：300部、概要版：1,000部				
	町地形図修正業務委託	交付対象事業	第二外環状道路側道等の道路整備により地形が変わったために地形図を修正	レベル2,500、レベル10,000の町全域における地形図作成				
	歩道整備事業	関連事業	阪急電鉄西山天王山駅の開業に伴う通行車両及び歩行者の増加を見込み、円明寺が丘団地内の歩道整備工事を実施	全長360mを整備				
	公園整備事業	関連事業	京都第二外環状道路と大山崎ジャンクション接続部を活用した公園を整備。	平成27年5月16日に「天王山夢ほたる公園」開園。子ども向け遊具、多目的ステージ、多目的トイレ、駐車場、山崎合戦の碑などを設置。				
	町市街地・天王山地区都市再生整備計画事後調査業務委託	関連事業	都市再生整備計画（平成22年～平成26年）により実施した事業の成果評価書を作成	成果評価書の作成				
住民 協働 事業	総合計画策定調査業務委託	交付対象事業	総合計画策定のための調査業務委託（町民ワークショップ、アンケート調査、現況と課題分析、計画素案の作成）	ワークショップの開催（のべ3回、のべ26人参加）、アンケート調査の実施【回収率】住民：51.6%、小学6年生・中学1年～3年生：98.2%、町職員：62.5%				
成果 指標	成果指標の目標数値	総合計画策定に係るアンケート調査の実施		成果指標の実績値 （平成27年3月31日時点）	【発送数】住民：1,200人、小学6年生・中学1年～3年生：508人、町職員：192人【回収数（回収率）】住民：615人（51.6%）、小学6年生・中学1年～3年生：499人（98.2%）、町職員：120人（62.5%）			
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	住民対象のアンケートでは、50%を超える回収率を得ることができた。また、将来を担う小学生・中学生にもアンケートを実施することができた。				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：大山崎町

①	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）	（時期）
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	今後10年間のまちの将来像や施策の目標を設定するにあたり、本町のまちづくりにおける住民等の意識を把握することができた。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。		
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	町の将来構想にかかる計画策定を行うとともに都市基盤整備を進め、総合的に住環境の整備を進めることができた。	
	住民の自治意識を高める成果	今後10年間の町の総合計画を策定するにあたり、町民ワークショップや住民、小学生・中学生へのアンケート調査を行うことにより、まちづくりへの住民参画の意識の高揚に資することができた。	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。